

## 2020年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 1. 動向

2020年1-3月の延べ宿泊者数（全体）は「1,395,440人」、前年同期比で「-18.5%」でした。

日本人延べ宿泊者数は「1,285,771人」、前年同期比で「-12.4%」でした。

外国人延べ宿泊者数は「109,669人」、前年同期比で「-55.1%」でした。

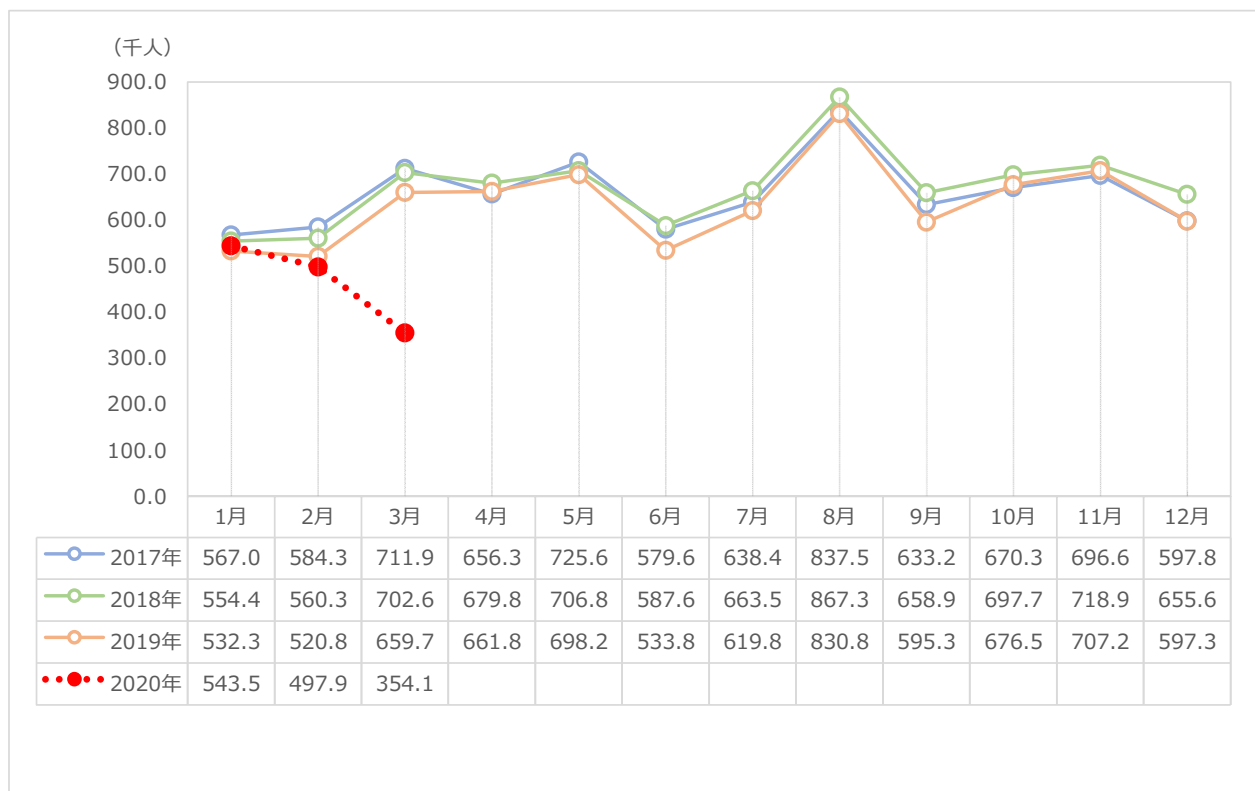
### 2. 延べ宿泊者数

<b>総数：</b>	<b>1,395,440</b>	<b>人</b>	<b>（前年比： ▲18.5%）</b>
1月：	543,480	人	（前年比： 2.1%）
2月：	497,861	人	（前年比： ▲4.4%）
3月：	354,099	人	（前年比： ▲46.3%）

※前年比・・・2019年1Qとの比較

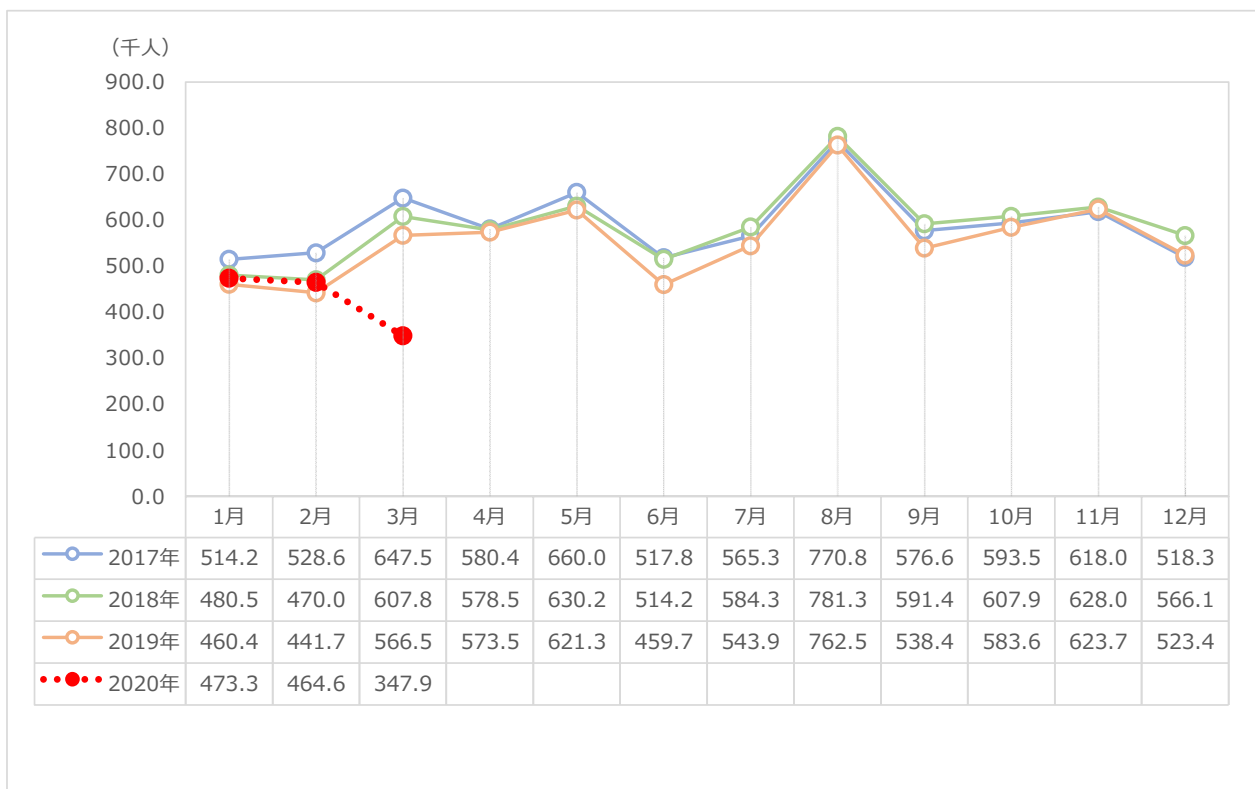
### 3. 推移

#### ① 延べ宿泊者数（全体）

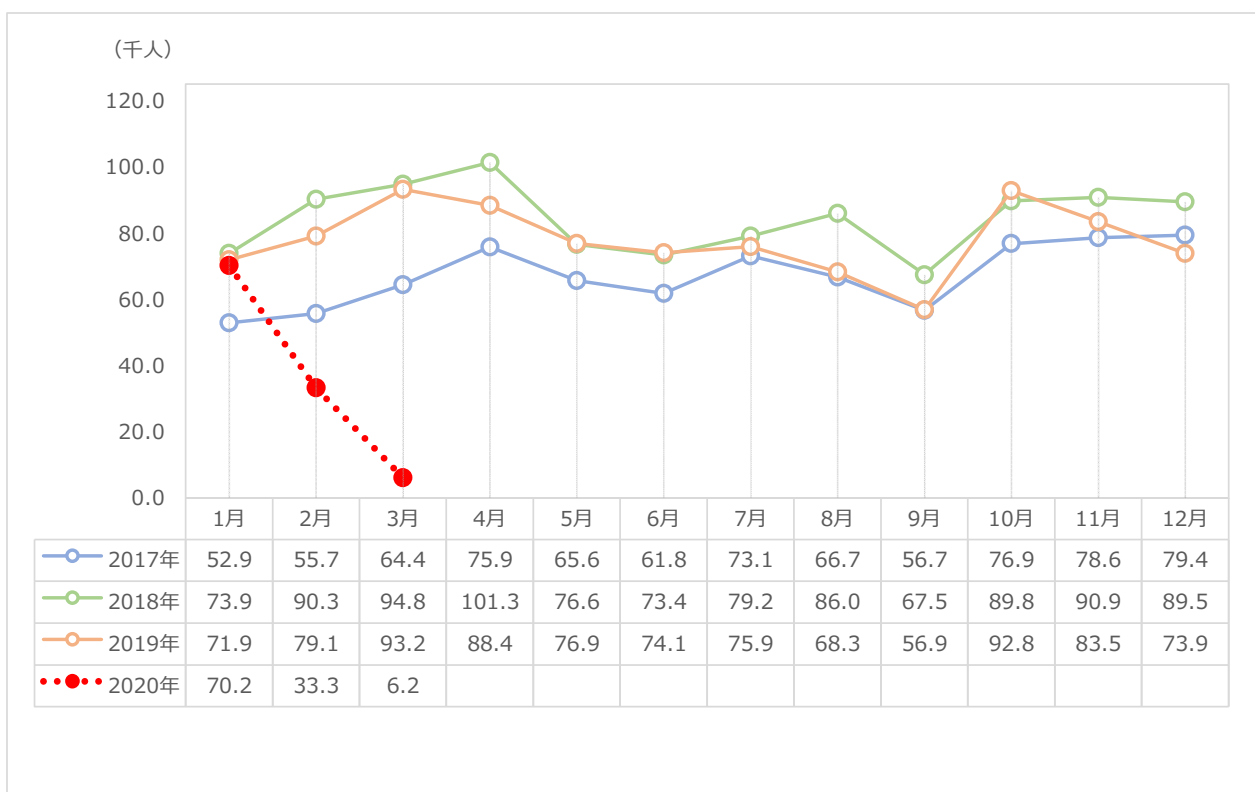


## 2020年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### ② 日本人延べ宿泊者数

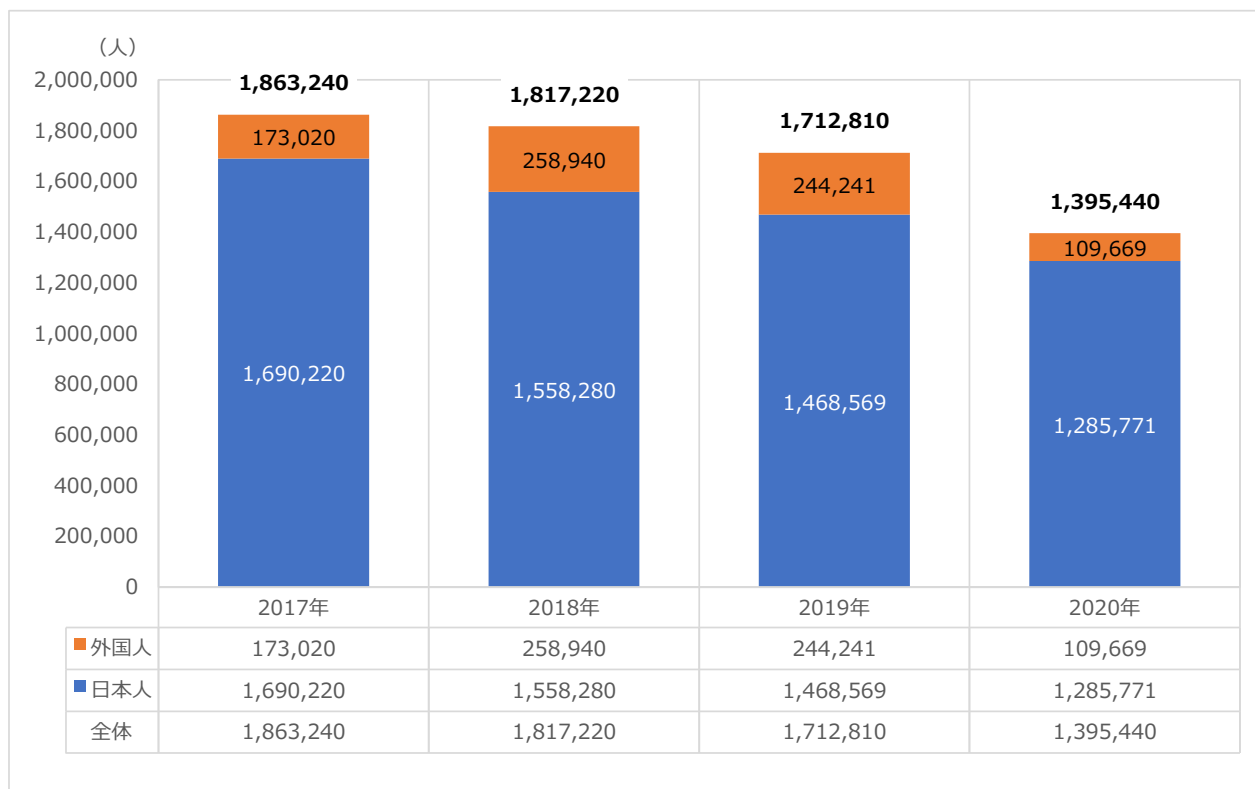


### ③ 外国人延べ宿泊者数

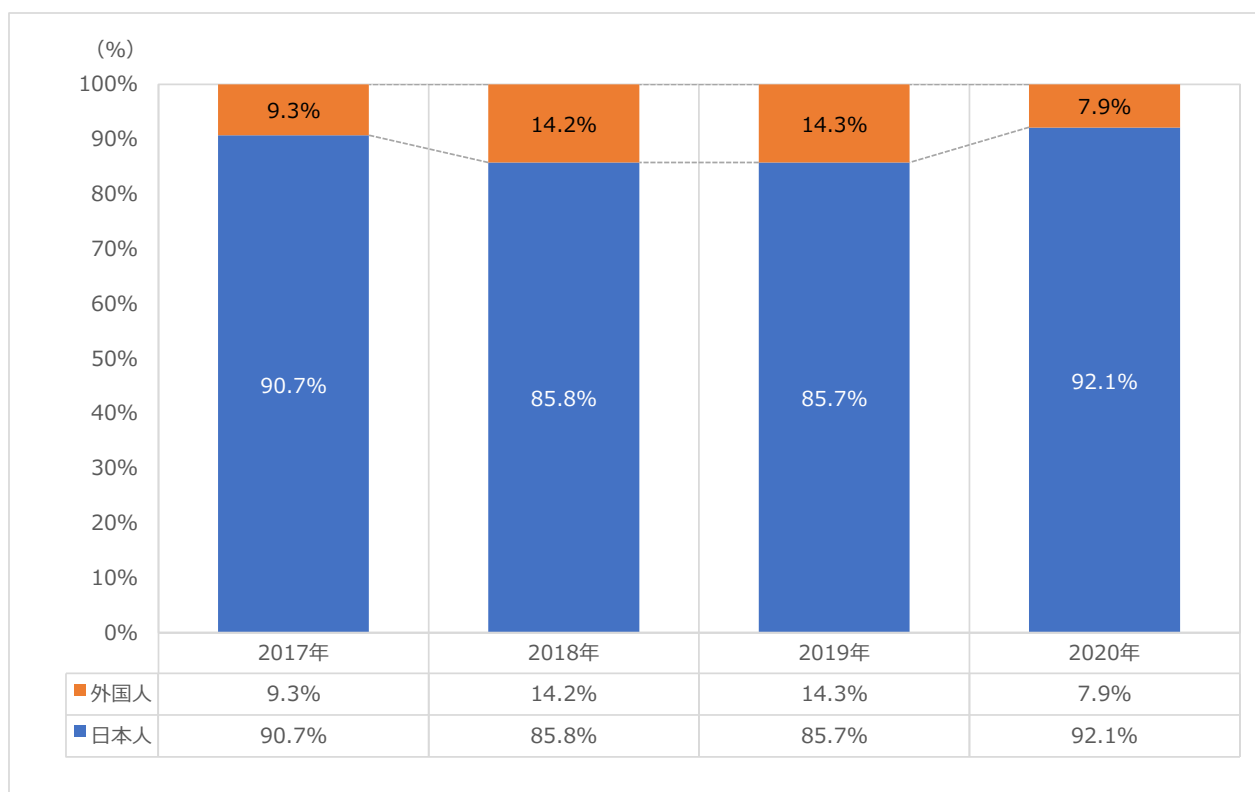


## 2020年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 4. 日本人・外国人別宿泊者数



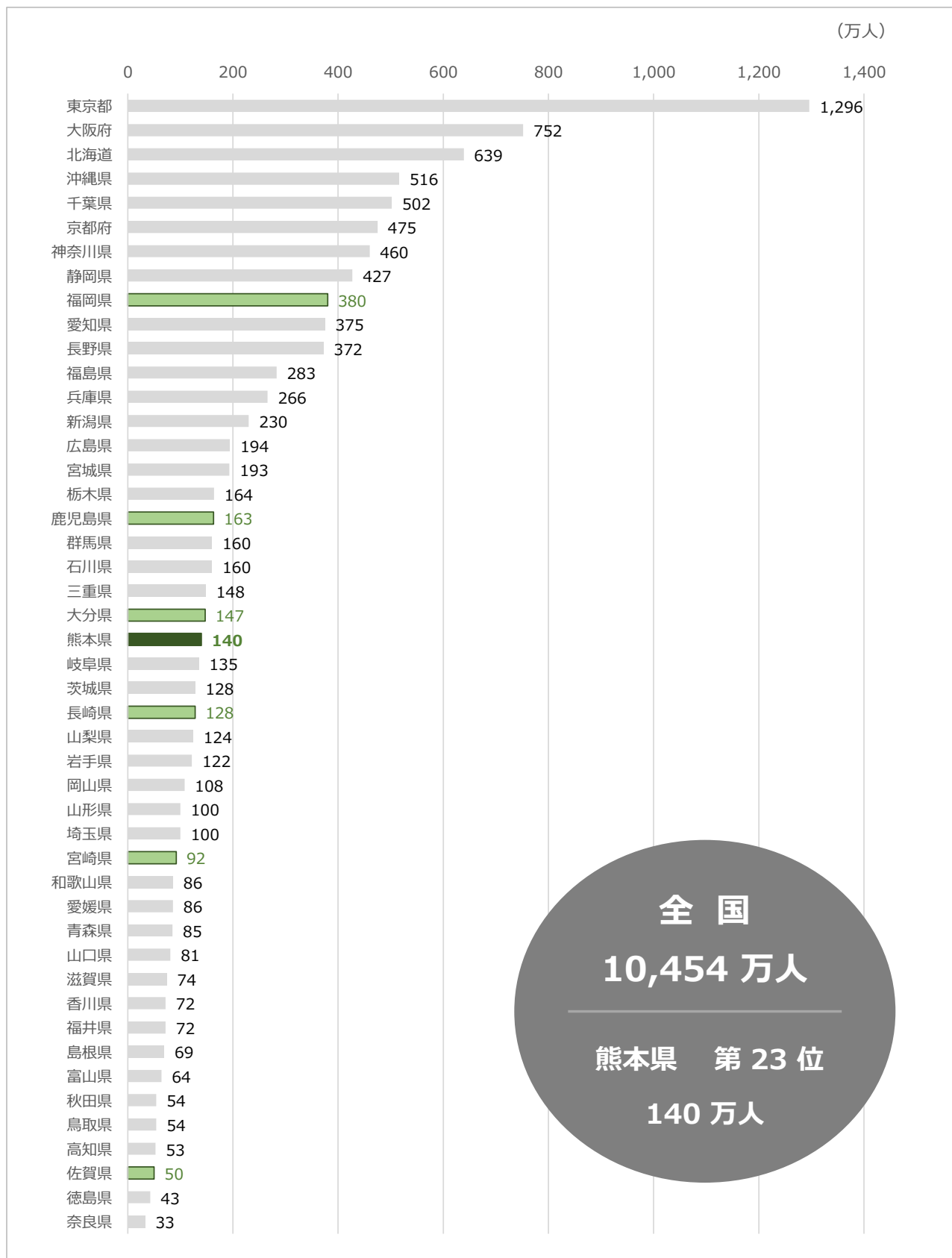
### 5. 日本人・外国人別割合



## 2020年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 6. 都道府県別延べ宿泊者数

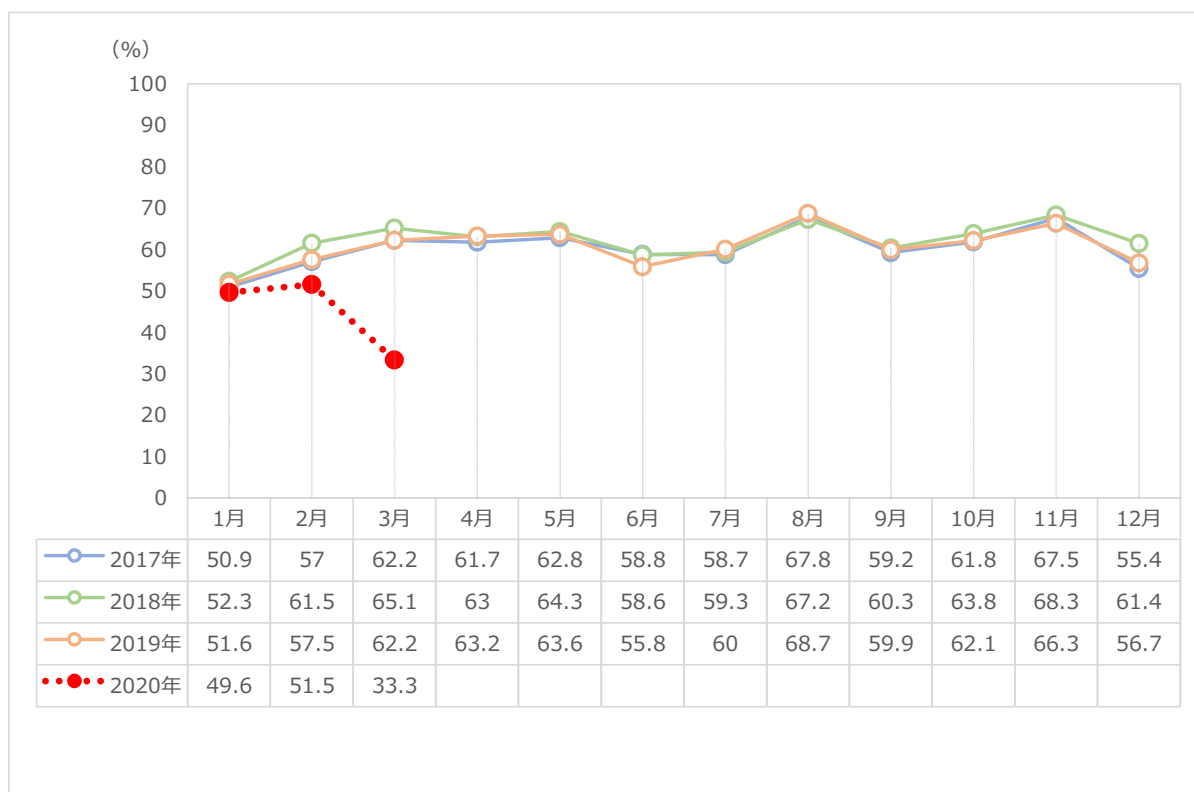
※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



## 2020年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 7. 客室稼働率

#### ① 推移



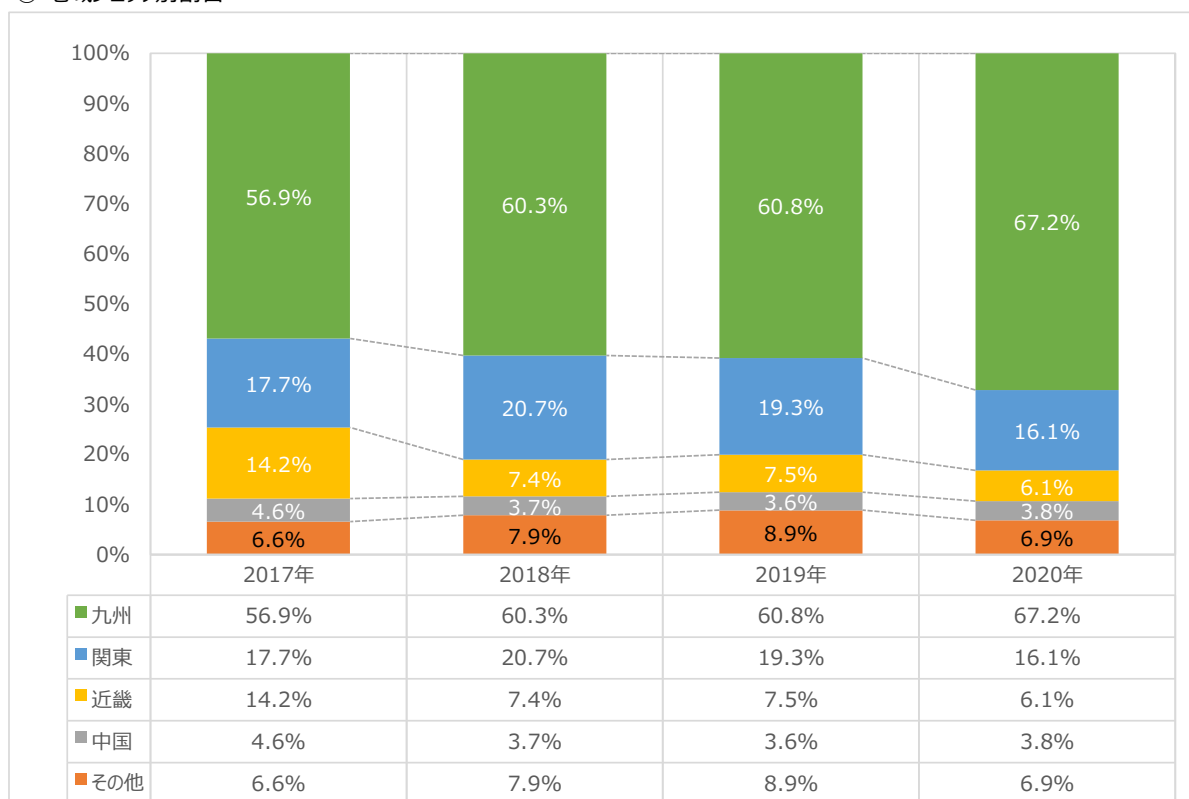
#### ① 施設別稼働率

施設	2019年			2020年		
	1月	2月	3月	1月	2月	3月
全体	51.6%	57.5%	62.2%	49.6%	51.5%	33.3%
旅館	37.6%	39.8%	45.4%	38.5%	38.3%	25.9%
リゾートホテル	35.1%	39.5%	51.0%	39.3%	27.4%	17.1%
ビジネスホテル	69.3%	78.2%	81.1%	68.7%	71.7%	46.7%
シティホテル	63.3%	74.7%	79.7%	58.5%	60.8%	33.7%
簡易宿所	19.0%	25.8%	28.9%	15.8%	22.1%	15.0%
会社・団体の宿泊所	9.4%	9.1%	16.4%	4.4%	14.5%	13.3%

## 2020年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 8. 国内発地別延べ宿泊客者数（従業者数100人以上の施設）

#### ① 地域ブロック別割合



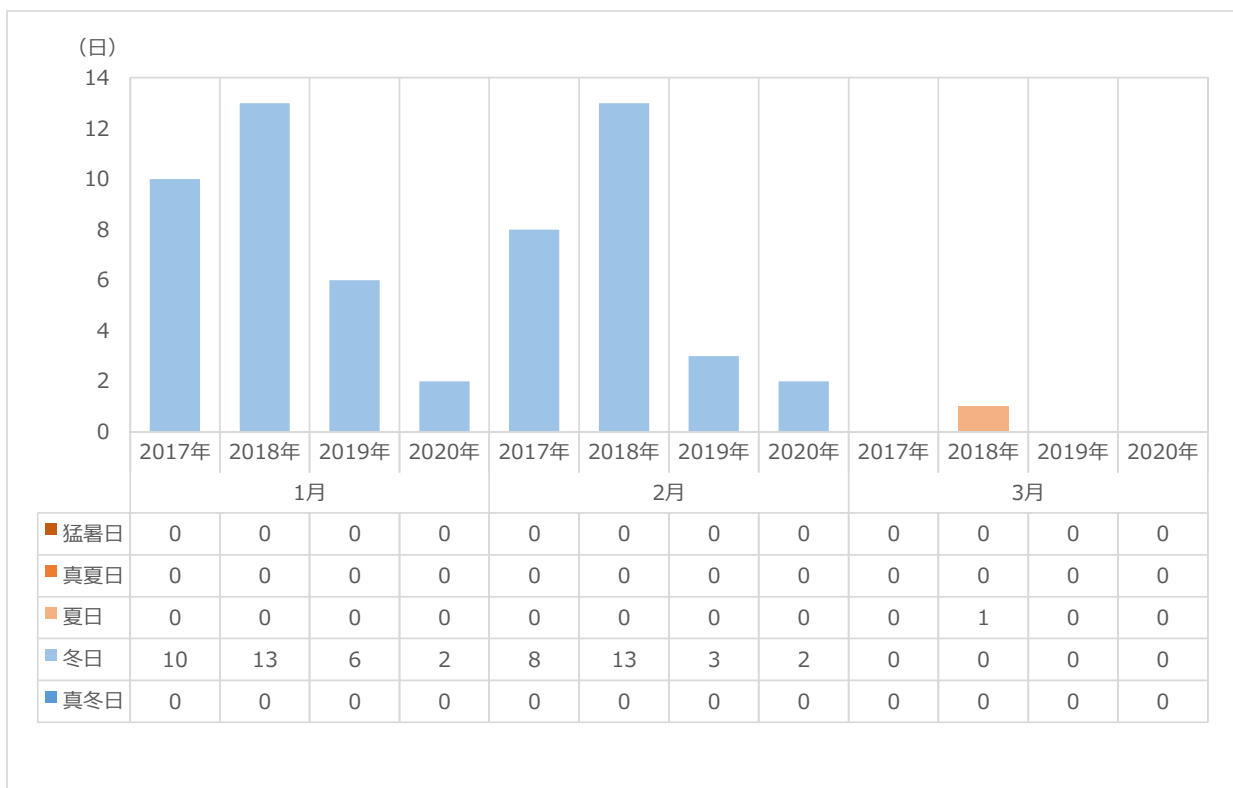
#### ② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2019年		2020年	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	福岡県	24,810人	福岡県	25,032人
2	<b>熊本県</b>	15,321人	<b>熊本県</b>	14,352人
3	東京都	9,528人	東京都	6,932人
4	鹿児島県	4,426人	鹿児島県	3,606人
5	神奈川県	3,441人	神奈川県	2,370人
6	大阪府	3,054人	宮崎県	2,363人
7	宮崎県	2,783人	長崎県	2,342人
8	長崎県	2,660人	大阪府	2,200人
9	大分県	2,237人	大分県	2,118人
10	愛知県	1,896人	佐賀県	1,768人

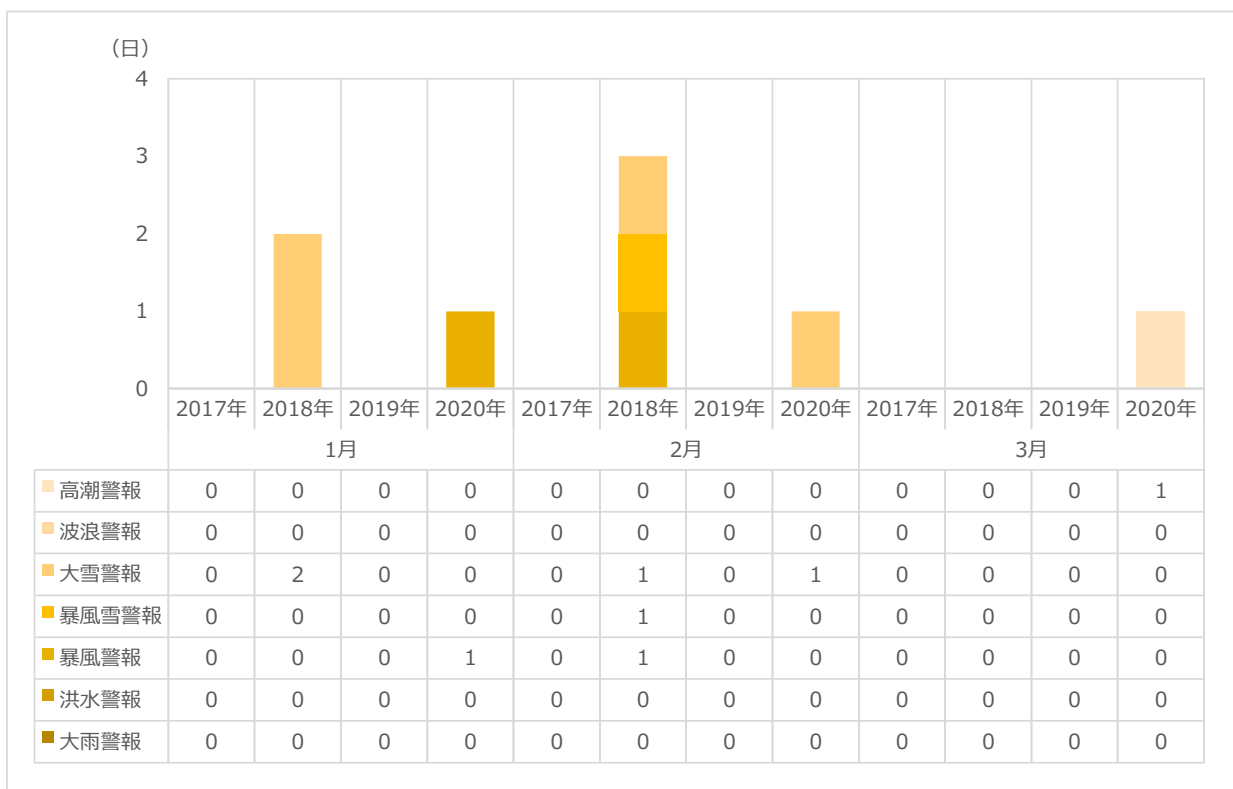
## 2020年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 9. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



## 2020年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 10. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など [ 特記事項がない場合は空欄 ]

#### ▽ 地域のトピックス ▽

- ・県内で初の新型コロナウイルス感染者を確認（2/22）
- ・政府、新型コロナウイルス感染防止のため大規模イベント中止・延期を要請（2/26）
- ・遊園地「グリーンランド」が新型コロナウイルス感染拡大により休園（3/2-19、4/8-5/29）
- ・くまモンがデビュー10周年、「くまモン誕生祭2020」は新型コロナウイルス感染拡大で中止に（3/14-15）
- ・熊本県、週末の外出自粛を要請（3/28・29）

#### ▽ 観光シーズンの動向 ▽

新型コロナウイルスの感染拡大により、2月上旬以降は外国人の、下旬以降は日本人含む全ての宿泊者が減少し始めた。3月も減少は続き、客室稼働率は過去にない低水準となっている。地域別では、観光目的の割合が高い阿蘇地域、韓国人インバウンドの減少が大きく響いた荒尾・玉名地域で落ち幅が大きい。

### 熊本県宿泊旅行統計調査について

#### 1. 本調査は以下を調査結果として表章しています。

- (1) 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合  
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値  
※新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制の影響で、外国人延べ宿泊者数が著しく少ないことから、「国籍（出身地）別外国人者数  
延べ宿泊構成比」「国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合」の掲載を見送っている。
- (2) 気象情報  
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値
- (3) 地域のトピックス  
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの
- (4) 観光シーズンの動向  
「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの

#### 2. 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。

#### 3. 調査結果の整合については以下に注意が必要です。

- (1) 本調査内の数値  
端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。  
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。
- (2) 他の同類・類似調査  
調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。  
⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など

\*本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。